

新治市民の森植物観察会

2019.6.1

天候に恵まれ、43名の参加者がありました。9時半にJR横浜線の十日市場駅に集合し、住宅地を抜け、にいほる里山交流センターに集合しました。途中丈が1mを超えるイヌスギナを住宅地で見ました。

新治市民の森の近くに住んでいられたという勝山会長に先導されて、1週間前に下見をしたルートを辿り、旭谷戸から谷戸田へ行き、白い花序を付けたコウモリカズラを観察しました。ここから折り返してヘボソ（カラスビシャクを意味する）に向かう山道をたどりました。山道の脇にはナンテンハギやノアザミの花が見られ、林の中に入るとシダ類の群落がありました。オカトラノオやツルニンジンが見られる狭い観察路を巡って池ぶち広場に降りました。この広場で昼食を摂り、昼食後は大池へと向かう道を歩き、左手にコヒルガオの花を見ながら、途中の脇道にキヌタソウの群落やワニグチソウ等を観察し、大池の傍を通り過ぎた道の脇に、珍しいヤブムグラの他にオオバナヤエムグラを見付けました。ここから折り返して、鎌立谷戸を通り、新治小学校の近くを歩いて里山交流センターに戻りました。今回は勝山会長の解説付きで、有意義な観察会になりました。（遠藤康彦 記）

当日観察した主な植物

アカネ科；アカネ、オオバナヤエムグラ、ヤブムグラ、キヌタソウ、ヨツバムグラ イネ科；イヌムギ、オオスズメノカタビラ、ヌカボ、カニツリグサ、クサヨシ、ドジョウツナギ ウコギ科；オカウコギ、ウド、ハリギリ、ヤマウコギ カヤツリグサ科；マスクサ、ジュズスゲ、シラスゲ キク科；コウヤボウキ、シラヤマギク、シロヨメナ、キバナガンクビソウ、カシワバハグマ スイカズラ科；オトコエシキンポウゲ科；アキカラマツ、サラシナショウマ、ツクバトリカブト クワ科；ヒメコウゾ、ヤマグワシソ科；アキノタムラソウ、オカタツナミソウ、クサギ、タツナミソウ、ツルニガクサ、トウバナ セリ科；ウマノミツバ、カノツメソウ、ノダケ、オヤブジラミ ツツラフジ科；コウモリカズラ サクラソウ科；オカトラノオ マメ科；トキリマメ、ナンテンハギ、ネムノキ、ケヤブハギ、ネコハギ、フジカンゾウ 観察指導：勝山輝男会長、佐々木シゲ子 担当：○遠藤康彦、難波昭雄、大井信一 観察種の詳細目録は、紀行文と一緒に2020年5月発行予定の「横浜植物会 年報49号」に掲載します。



コウモリカズラ



コウモリカズラの花序



ナンテンハギ



ノアザミ



クサレダマ



キヌタソウ